

平成31年 第1回定例会

美 瑛 町 議 会 会 議 録

(第2号) 3月1日 開議

美 瑛 町 議 会

議 事 日 程 (第 2 号)

平成 3 1 年第 1 回美瑛町議会定例会

平成 3 1 年 3 月 1 日 午前 9 時 3 0 分開議

- 第 1 会議録署名議員の指名について
- 第 2 議案第 1 5 号 平成 3 1 年度美瑛町一般会計予算について
- 第 3 議案第 1 6 号 平成 3 1 年度美瑛町老人保健施設事業特別会計予算について
- 第 4 議案第 1 7 号 平成 3 1 年度美瑛町農業研修施設事業特別会計予算について
- 第 5 議案第 1 8 号 平成 3 1 年度美瑛町水力発電事業特別会計予算について
- 第 6 議案第 1 9 号 平成 3 1 年度美瑛町白金泉源事業特別会計予算について
- 第 7 議案第 2 0 号 平成 3 1 年度美瑛町公共下水道事業特別会計予算について
- 第 8 議案第 2 1 号 平成 3 1 年度美瑛町水道事業会計予算について
- 第 9 議案第 2 2 号 平成 3 1 年度美瑛町立病院事業会計予算について

○出席議員（13名）

2番	中村俱和	議員
3番	京屋愛子	議員
4番	八木幹男	議員
5番	佐藤晴観	議員
6番	沢尻健	議員
7番	野村祐司	議員
8番	大坪正明	議員
9番	・和浩幸	議員
10番	穂積力	議員
11番	桑谷覺	議員
12番	佐藤剛敏	議員
13番	杉山勝雄	議員
議長	14番 濱田洋一	議員

○欠席議員（1名）

1番	福原輝美子	議員
----	-------	----

○出席説明員

町	長	浜田	哲君
副町	長	塚田	聡仁君
副町	長	石井	典夫君
会計管理者		三井	浩君
税務課	長	鈴木	貴久君
総務課	長	山下	浩史君
情報戦略室	長	今瀧	毅君
政策調整課	長	富田	敏博君
収納対策室	長	中島	二郎君
住民生活課	長	平間	克哉君
保健福祉課	長	高崎	史江里君
地域包括支援センター	所長	森	法子君
保健センター	所長	樫山	尚代君
保育センター	所長	今野	聖貴君
経済文化振興課	長	栗原	行可君
文化スポーツ推進室	長	保田	仁君
農林課	長	芝生	公之君
建設水道課	長	長野	克哉君
水道整備室	長	小杉	昌敏君
町立病院事務局	長	高島	和浩君
総務課	長補佐	竹本	匡志君
総務課	財政係長		
教育	長	千葉	茂美君
管理課	長	吉川	智巳君
図書館	長	野崎	千恵君
農業委員会	会長	川崎	章道君
農業委員会	事務局長	川合	実智代君
代表監査委員		大西	宣充君
監査事務	長	山下	浩史君

○書記

事務局長 新村 猛 君
係 長 佐藤 誉 修 君

開議挨拶

○議長（濱田洋一議員） 皆さんおはようございます。定例会2日目であります。ご参集賜り、ありがとうございます。今日、予算委員会等の立ち上げ等もあります。よろしくお願いを申し上げて、簡単でありますけれども冒頭にご挨拶に代えます。

開議宣告

○議長（濱田洋一議員） 本日の会議を開きます。ただいまの出席議員は13人です。本日の議事日程は印刷物で配布のとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名について

○議長（濱田洋一議員） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は会議規則第126条の規定によって、3番京屋愛子議員と12番佐藤剛敏議員を指名します。

日程第2 議案第15号 平成31年度美瑛町一般会計予算について

日程第3 議案第16号 平成31年度美瑛町老人保健施設事業特別会計予算について

日程第4 議案第17号 平成31年度美瑛町農業研修施設事業特別会計予算について

日程第5 議案第18号 平成31年度美瑛町水力発電事業特別会計予算について

日程第6 議案第19号 平成31年度美瑛町白金泉源事業特別会計予算について

日程第7 議案第20号 平成31年度美瑛町公共下水道事業特別会計予算について

日程第8 議案第21号 平成31年度美瑛町水道事業会計予算について

日程第9 議案第22号 平成31年度美瑛町立病院事業会計予算について

○議長（濱田洋一議員） 日程第2、議案第15号、平成31年度美瑛町一般会計予算についての件、日程第3、議案第16号、平成31年度美瑛町老人保健施設事業特別会計予算についての件、日程第4、議案第17号、平成31年度美瑛町農業研修施設事業特別会計予算についての件、日程第5、議案第18号、平成31年度美瑛町水力発電事業特別会計予算についての件、日程第6、議案第19号、平成31年度美瑛町白金泉源事業特別会計予算についての件、日程第7、議案第20号、平成31年度美瑛町公共下水道事業特別会計予算についての件、日程第

8、議案第21号、平成31年度美瑛町水道事業会計予算についての件及び日程第9、議案第22号、平成31年度美瑛町立病院事業会計予算についての件を一括議題とします。

予算編成方針について

○議長（濱田洋一議員） ここで浜田町長から平成31年度予算編成方針についての説明を受けます。

（「はい」の声）

浜田町長。

（町長 浜田 哲君 登壇）

○町長（浜田 哲君） 皆さん、おはようございます。今日は平成31年度の予算を提案させていただきますので、よろしくお願いを申し上げます。

それでは、編成方針について述べさせていただきます。平成31年度予算編成方針について、第1回定例会にあたり、平成31年度の予算案並びにその要旨について申し上げます。時の流れは早いもので平成11年に町長に就任して以来、町政の重責を担わせていただいてから5期20年にわたり、町民の皆さま並びに議員各位から賜りましたご支援、ご協力に対し厚くお礼を申し上げます。この20年を顧みますと、日本のみならず、世界的な規模で社会の仕組みが変化、あるいは進化したまさに激動の時代であったと感じています。元号が平成に改められた当時は、バブル経済の崩壊とともに、失われた20年と呼ばれるデフレーションの時代を迎えました。その混沌の中でさらに地方分権を旗印に国が強力に主導した市町村合併の是非について決断を迫られ、私たちは未来の美瑛町のために検討と話し合いを重ねて、自分たちの町は自分たちで守り、町の未来は自ら築くという想いを軸として町財政の健全化を図りながら、いかに力強くまちづくりを進めていくか、常に挑戦を続けてまいりました。町民の皆さまが幸せを感じながら暮らし続けられる地域づくりを念頭に置き、住民生活に直結する保健・福祉・医療の充実はもとより、土づくりから農産物の付加価値化に至る基幹産業である農業の振興と商工業及び観光業との連携と振興、公共施設の建設や道路整備、廃校校舎を活用した社会資本の整備等、画一的な一般的行政運営にとらわれずに、実際にこの地に暮らす我々が、真摯に美瑛の歴史を生かしながら、未来に希望を持てる施策を選択し推進してまいりました。この先の町政については今住んでいる私たちがこの大切な美瑛町に誇りを持ち、安心して暮らしていけるまちづくりを最優先に、そして我々にとっての心の原風景である美しい丘陵景観のもと、ブランド化が進む丘のまちびえいの農業を核として、日本を代表する観光地・美瑛でのホスピタリティあふれる商工業や観光業の振興をまちづくりの両輪として、福祉、医療や教育、文化、防災等の施策を充実し、住民が主体となって共に支え合い、困難な時代にあっても持続できるまち

づくりを進めることが大切だと考えております。平成31年度の予算編成に当たっては、これまでの取り組みを基本として、行財政改革、事務事業のさらなる見直しを進めながら、必要性や緊急性、課題とされている事業など財政の効率的な運営を図りながら、町民の皆さまが安全に安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指しました。本年4月には町長並びに町議会議員の改選期となりますので、今定例会に提出した予算案は、経常的経費と継続的施策事業を中心に盛り込み、町民の皆さまにとって必要なサービスを始め、農林業、商工業などの産業振興や地域の経済活動への影響などを重視した骨格予算で編成することといたしました。併せて、町行政運営に必要とされる経費について所要の措置を講じました。その主な内容について、ご説明申し上げます。総務費関連では安全・安心なまちづくりを推進すべく、胆振東部地震による停電被害等を教訓とし、災害時に必要とされるまちの機能を維持するための防災資機材、発電機の整備費用を計上しました。また、本町の歩みを記録に残し、後世に伝えるため10年毎に編さんを行っている第8巻となる町史の編さん費用や、本年度執行される各種選挙に要する経費などを計上しました。民生・福祉関連では、乳幼児から高齢者の方々、誰もが健やかな暮らしを送ることができるまちづくりの推進のため、引き続き介護等サービス事業、予防接種・各種健診事業など町民福祉の充実に要する経費を計上し、児童福祉においては、子ども・子育て支援として実施する一時預かり事業、認定こども園整備に係る補助金などの経費について計上しました。農林業関連では本年度、本町において開催される北海道小麦キャンプinびえいの運営費負担金を計上するとともに、引き続き、中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払交付金、未来につなぐ森づくり推進事業補助金等の継続事業を中心に予算計上しました。商工・観光振興関連では、丘のまちびえい活性化協会が日本版DMOに正式登録されたことを機に、DMO推進に要する活動補助を地方創生推進交付金活用のもと充実させ、また、市街地各種施設利用の利便性向上と丸山通りのさらなる魅力化を図るべく、丸山通りにおける駐車場整備費用を新たに計上しました。文化スポーツ振興としては、通年の本格稼働となる町民プールの維持管理経費とあわせて駐車場等外構整備費用を計上しました。社会資本整備関連では本年度完了となる美沢17線、旭千代ヶ岡線道路改良舗装、両泉橋架換事業費を計上するとともに、継続して実施する朗根内上俵真布線、美園村山線道路改良舗装事業費などを計上しました。また、雪寒建設機械の老朽化に伴う更新費用を計上しました。住宅環境関連においては、町営住宅の維持修繕経費を引き続き計上するとともに、憩町団地において順次住宅の解体を行います。教育分野においては、教育助手、教育専門員、外国語指導助手の配置や学校給食費無償化など、町独自の施策を継続的に行い、教育環境の充実と教育的負担の軽減を図ります。また、未使用となる美瑛小学校プールを解体し駐車場として整備することで、登下校する児童の安全が懸念されていた現状の美瑛小学校駐車場利用を改善し、安全な学校環境を確保します。これらの方針に基づいて編成した結果、一般会計89億8900万円。5特別会計4億7796万300

0円。2公営企業会計17億767万5000円。合計111億7463万8000円の予算となりました。以上であります。よろしくお願ひいたします。

○議長（濱田洋一議員） これから各議案の提案理由の説明を求めます。はじめに議案第15号についての提案理由の説明を求めます。

（「はい」の声）

鈴木総務課長。

（総務課長 鈴木 貴久君 登壇）

○総務課長（鈴木貴久君） おはようございます。議案第15号の平成31年度美瑛中一般会計予算の提案理由につきましてご説明申し上げます。美瑛町各会計予算書の厚い方になります。1頁になります。一般会計予算につきましては、別冊の平成31年度予算編成方針を踏まえまして編成したところであります。総額では89億8900万円となり、平成30年度当初予算と比較しますと11億1300万円、率にして11パーセント減となりました。はじめに議案条文を朗読し、その後予算内容の説明を申し上げます。

（議案の朗読を省略する）

内容につきましては、この予算書と別冊の各会計予算説明書によりご説明申し上げます。最初に、別冊になりますが、各会計予算書の説明書の4頁をお開き願ひます。薄い方になります。2の一般会計予算の説明になります。一般会計予算の説明につきましては、抜粋して朗読し説明とします。また、括弧書きの比率などの朗読は省略します。冒頭9行を省略し、本町における、からになります。本町における平成31年度予算編成において、町税は総額で前年度比1889万4000円増の11億162万4000円を計上しました。普通交付税の推計にあたっては、平成31年度地方財政計画を考慮するとともに、本町の特殊要因を勘案し推計したところ、交付推計額は前年度比6200万円増の43億4000万円となり、うち1億2000万円を財源保留し、前年度比2200万円増の42億2000万円を計上しました。また、臨時財政対策債については、地方債計画で示された全体額が前年度比18.3パーセント減となったことから、同率減の1億9040万円を計上しました。特別交付税については、前年度実績見込みを考慮するとともに、ルールに基づき算入される中山間事業算入分などを含み、前年度比14.9パーセント増の3億5000万円を計上しました。地方交付税に臨時財政対策債を加えた交付税額は前年度比2800万円増の47億6040万円、財源留保分も加えた交付税額は前年度比6800万円増の48億8040万円となりました。平成31年度においては骨格予算での編成となることを踏まえ、安全・安心なまちづくりの推進に必要な防災関連などの施策事業や、地域活性化に不可欠となる継続的施策事業を盛り込むとともに、引き続き経常経費の見直しや財源の有効かつ効率的な配分に努め、安定した財政基盤を維持する中で、第5次まちづくり総合計画の基本構想に沿った予算編成を行いました。この結果、平成31年

度一般会計予算の総額は、前年度比11億1300万円減の89億8900万円となりました。

以下、平成31年度一般会計の予算概要について説明いたします。次の頁になります。歳入、歳入の一般財源は、63億3775万2000円で、一般財源の歳入構成比率は70.5パーセントで、前年度に比べ8.3パーセント増加しました。その他財源は26億5124万8000円で、歳入構成比率は29.5パーセントで、前年度に比べ8.3パーセント減少しました。一般財源のうち、町税は前年度比1889万4000円増の11億162万4000円を計上しました。内訳は、個人町民税が給与所得の増などにより、前年度比353万5000円増の4億1182万7000円。法人町民税は、前年度比46万8000円増の7079万7000円。固定資産税は前年度比1061万1000円増の4億4443万9000円を計上しました。たばこ税などのその他普通税や目的税については、前年度比428万円増の1億7456万1000円を計上しました。以下、地方特例交付金までの16行を省略して、普通交付税からになります。普通交付税については、本町の特殊要因やさまざまな条件を勘案した結果、基準財政需要額55億7621万9000円から基準財政収入額12億2337万2000円及び調整額を差し引いた43億4000万円を交付推計額と見込み、交付税推計額のうち1億2000万円を財源留保し、前年度比2200万円増の42億2000万円を計上しました。特別交付税は前年度実績見込みを考慮するとともに、ルールに基づき算入される中山間事業算入分などを含み、前年度比14.9パーセント増の3億5000万円を計上しました。以下、町債の前までの10行を省略します。町債の一般財源は、臨時財政対策債が前年度比3940万円減の1億9040万円となりました。一般財源の合計は、前年度比5561万7000円増の63億3775万2000円となりました。その他の財源では、分担金及び負担金が基幹水利施設管理負担金の増などにより、前年度比88万円増の543万8000円となりました。使用料及び手数料は町営住宅使用料見込みの増などから、前年度比182万7000円増の1億7638万円となりました。国庫支出金は、認定こども園整備に係る補助金の増がありましたが、丸山通り線、美望ヶ原ビルケ線整備に係る補助金が皆減となったことなどにより、前年度比382万3000円減の8億6531万5000円となりました。道支出金は、町民プール建設の財源となった、地域づくり総合交付金、林業・木材産業構造改革補助金が皆減となったことなどにより、前年度比6938万9000円減の6億9169万1000円となりました。財産収入は、建物貸付料の増などにより、前年度比115万9000円増の3761万1000円となりました。繰入金は、前年度比4億2659万円減の2億2956万2000円となりました。平成30年度においては、町民プールなどの建設事業や福祉、農業などを含むまちづくりに必要な施策事業に対し、まちづくり寄附金を合わせ7億円以上の各種基金を有効に活用しましたが、平成30年度末においても、積み立てを行える状況であり、安定した財政基盤を維持できることから、引き続き財源の有効的活用を踏まえ、それぞれの目的に応じ

た事業に繰り入れを行いました。以下、7行を省略し、諸収入からになります。諸収入は、町民プール建設にかかるスポーツ振興助成金の皆減などにより、前年度比1541万9000円減の2億1335万1000円となりました。町債は、一般財源の臨時財政対策債を差し引くと前年度比6億5730万円減の4億3190万円となりました。以下を省略し、歳出に移ります。歳出、歳出予算の構成は、義務的経費が36億4992万5000円で、構成比率は40.6パーセント、消費的経費が20億7004万円で構成比率は23パーセント、事業費が13億9756万7000円で構成比率は15.6パーセント、その他経費が18億7146万8000円で構成比率は20.8パーセントとなりました。義務的経費の内訳では、人件費は、退職手当組合特別負担金の皆増及び非常勤職員報酬等の増などにより、前年度比5952万円増の14億9386万8000円となりました。扶助費は、児童手当の減及び高齢者・障害者福祉の増などにより、前年度比46万1000円増の5億8757万4000円となりました。公債費は、平成28年度借入債などの元金償還が始まることなどから、前年度比3664万1000円増の15億6848万3000円となりました。なお、平成31年度の実質公債費比率の見込みは、11.0パーセントと推計しています。消費的経費の内訳では、物件費は前年度比4370万8000円増の11億9977万6000円となりました。以下、3行省略します。維持修繕費は、前年度比101万円増の3億1249万8000円となりました。以下、3行省略します。補助費等は前年度比1401万1000円減の5億5776万6000円となりました。以下、4行省略します。事業費全体としては、町民プール建設、丸山通り線、美望ヶ原ビルケ線道路整備が皆減となったことなどから、前年度比11億8555万円減の13億9756万7000円となりました。普通建設事業については、前年度比11億8564万8000円減の13億9641万2000円となりました。以下、2行ほど省略します。単独事業は、前年度比1億5850万8000円減の1億4667万4000円となりました。以下を省略し、次の頁になります。負担金事業の計上は無く、受託事業は、前年度同額の16万2000円となりました。災害復旧事業は、前年度比9万8000円増の115万5000円となりました。その他の経費は、事務組合負担金が、前年度比4408万1000円増の10億4355万5000円となりました。増額の主な要因としては大雪清掃組合が前年度比1065万8000円、大雪消防組合が前年度比1823万2000円の増となったことなどによるものです。繰出金は前年度比9816万4000円減の7億653万7000円となりました。以下、10行省略します。別表の前までを省略いたします。別表、平成31年度地方消費税交付金、社会保障財源、金額1億円になります。使途については、下記の表4つの事業へ財源充当することを予定してございますので、ご高覧いただきたいと思います。次の頁10頁から28頁までは一般会計の予算概要になりますが、説明は省略しますので、後ほどご高覧いただきたいと思います。続いて、予算書の説明になります。先ほどの各会計予算書の一般会計

予算書の2頁目、第1表歳入歳出予算を説明いたします。2頁になります。第1表歳入歳出予算、1、歳入、合計額のみ申し上げます。次の頁3頁の下段になります。第1款の町税から第20款の町債までの全20款で、歳入合計89億8900万円。次の頁になります。2、歳出も合計額のみ申し上げます。次の頁5頁下段になります。第1款議会費から第14款予備費までの全14款の歳出合計89億8900万円。次の頁になります。第2表、債務負担行為、事項、平成31年度美瑛町担い手総合推進事業により新規就農者が美瑛町農業協同組合より借入する貸付金の損失補償。期間、平成31年度から平成43年度まで。限度額、損失補償500万円。次の頁になります。第3表地方債、個別の起債事業名は省略させていただきます。起債の目的、緊急防災減災事業。限度額、2470万円。起債の方法、証書借入又は証券発行。利率、3.0パーセント以内。償還の方法、政府資金については、その融資条件により、銀行その他の場合にはその債権者と協定するものによる。ただし、町財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、又は繰上償還もしくは低利に借換えすることができる。以下、辺地対策事業、過疎対策事業については、利率、償還方法が同じため省略し、起債の目的及び限度額のみ申し上げます。辺地対策事業、限度額1億2810万円。過疎対策事業、限度額2億7910万円。臨時財政対策債、限度額1億9040万円。起債の方法、証書借入又は証券発行。利率、3.0パーセント以内。ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率。償還の方法は同じでございます。地方債の合計6億2230万円。次の頁、8頁から10頁までの歳入歳出予算事項別明細書の1総括と、11頁からの2、歳入、32頁までありますけども、こちら、それから33頁からは、歳出になります。172頁までの予備費までについては、説明は省略させていただきます。173頁になります。173頁は給与費明細書についてでございます。給与費明細書については、理事者、議会議員を含めた特別職と一般職の人員、報酬、給料及び手当などについて、前年度と比較して、それぞれ176頁まで、示してございます。説明は省略させていただきます。177頁になります。地方債の前々年度末における現在高並びに前年度末及び当該年度末における現在高の見込みに関する調書につきましては、交付税算入額を示してる表になります。合計額のみ申し上げます。178頁の下段になります。起債の合計、29年度末現在高、合計149億1414万9000円。30年度末見込み額、合計150億677万8000円。当該年度中起債見込額、合計6億2230万円。当該年度中償還見込額、元金と利子を合わせた合計15億6748万3000円。当該年度末現在高見込額、合計141億4066万8000円。交付税算入額、当該年度合計10億324万1000円。Dのうち交付税算入額の合計は、98億9641万5000円になります。備考になります。実質公債費比率については、平成28年度から平成30年度までのそれぞれの比率になりますので、ご高覧願います。次の頁になります。債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は支出額の見込及

び当該年度以降の支出予定額等に関する調書につきましては、実質的に町の負担が伴うものと実質的に町の負担が発生していないものに区分して記載しています。それぞれの合計額のみ申し上げます。はじめに、実質的に町の負担が伴うものの合計になります。次の頁、181頁、182頁になりますので、こちらをお開き願います。実質的に町の負担が伴うもの、1番下の欄になります。限度額、2億2962万3000円。前年度までの支出額1億6151万2000円。当該年度以降の支出予定額1025万9000円。左の財源の内訳、特定財源、国・道支出金557万5000円。一般財源468万4000円。次の頁になります。実質的負担が発生していないものになります。1番下の欄になります。限度額、1億5000万円。前年度までの支出額、5300万円。当該年度以降の支出予定額、9700万円。左の財源の内訳、一般財源、9700万円です。以上で議案第15号、平成31年度美瑛町一般会計予算についての説明を終わります。よろしくお開き願います。

○議長（濱田洋一議員） 次に、議案第16号について提案理由の説明を求めます。

（「はい」の声）

はい、平間保健福祉課長。

（保健福祉課長 平間 克哉君 登壇）

○保健福祉課長（平間克哉君） おはようございます。それでは、議案第16号の提案理由をご説明申し上げます。各会計予算書の185頁をお開き願います。平成31年度的美瑛町老人保健施設事業特別会計予算につきまして、はじめに、議案条文を朗読させていただきます。

（議案の朗読を省略する）

以下、186頁から195頁までの歳入歳出予算などについての説明は省略をさせていただきますので、後ほどご高覧願います。次に、別冊の各会計予算説明書のご説明を申し上げます。予算説明書の29頁をお開き願います。3、老人保健施設事業特別会計予算説明。はじめの3行を省略させていただき、4行目からになります。要介護高齢者にとって最も望ましい生活の場は、住み慣れた自宅であり、在宅での生活復帰を目指すため、利用者一人ひとりの状態や目標に合わせ、適切なケアとサービスを提供し、家庭や地域社会の結びつきを維持しながら生きがいを持った療養生活を送れるよう支援をまいります。また、要介護認定を受けた在宅高齢者の方が、元気で生き生きとした日常生活を過ごせるよう引き続き、訪問リハビリテーションにも積極的に取り組んでまいります。本年度の歳入歳出総額は、前年度比1945万2000円、16.7パーセント減の9673万4000円を計上しました。以下、平成31年度の予算の概要は説明を省略をさせていただきます。以上で、議案第16号の提案理由の説明とさせていただきます。よろしくお開き願います。

○議長（濱田洋一議員） 次に、議案第17号について提案理由の説明を求めます。

（「はい」の声）

保田農林課長。

(農林課長 保田 仁君 登壇)

○農林課長(保田 仁君) おはようございます。議案第17号の提案理由につきまして、ご説明を申し上げます。各会計予算書の196頁をお開き願います。平成31年度的美瑛町農業研修施設事業特別会計につきましては、はじめに、議案条文を朗読させていただきます。

(議案の朗読を省略する)

以下、197頁から207頁までの歳入歳出予算などの説明につきましては、省略をさせていただきます。次に、別冊の各会計予算説明書の30頁をお開き願います。朗読をもって説明に代えさせていただきます。4、農業研修施設事業特別会計予算説明。本町の農業研修施設は、美瑛町農業技術研修センターみのりを多くの農業者の皆さまにご利用いただいておりますが、前年度からは、新たに旧美進小学校を改修した、美瑛町農業担い手研修センターが新規就農者のための研修施設として運営を開始し、両施設を一つの事業として特別会計で管理するものであります。農業技術研修センターは、農作物の試験栽培や試験ほ場の保全管理、農畜産物の加工研修及び土壌診断業務を行ってまいります。農業担い手研修センターは、本町で就農を目指す担い手の居住、宿泊及び研修の拠点として、管理運営を行ってまいります。本年度の歳入歳出総額は、2503万4000円を計上いたしました。以下、歳入歳出の概要につきましては朗読を省略させていただきます。以上で、議案第17号の提案理由の説明を終わります。よろしくお願いを申し上げます。

○議長(濱田洋一議員) 次に、議案第18号について、提案理由の説明を求めます。

(「はい」の声)

長野水道整備室長。

(水道整備室長 長野 克哉君 登壇)

○水道整備室長(長野克哉君) おはようございます。それでは、議案第18号の提案理由をご説明申し上げます。各会計予算書の208頁をお開きください。平成31年度的美瑛町水力発電事業特別会計予算につきまして、はじめに議案条文を朗読させていただきます。

(議案の朗読を省略する)

以下、209頁から223頁までの歳入歳出予算などの説明につきましては、省略をさせていただきます。次に別冊の各会計予算説明書の31頁をお開きください。朗読をもって説明に代えさせていただきます。水力発電事業特別会計予算説明。平成15年度より運転を開始した水力発電施設は、美瑛川のしろがね頭首工より流域変更導水路を経て、しろがねダムに注入される水力エネルギーを利用して発電し、その電力を町が管理する基幹水利施設に供給することにより、維持管理費軽減を図っており、引き続き適正で効率的な運営に努めます。本年度の歳入歳出総額は、前年度比111万3000円、2.7パーセント減の3995万9000円を

計上しました。以下、規模及び、歳入、歳出の概要につきましては省略させていただきます。
以上で議案第18号の提案理由の説明とさせていただきます。ご審議のほどよろしく願います。

○議長（濱田洋一議員） はい。室長、そのまま。

次に、議案第19号についての提案理由の説明を求めます。はい室長、続けてください。

○水道整備室長（長野克哉君） それでは、続きまして議案第19号の提案理由をご説明申し上げます。各会計予算書の224頁をお開きください。平成31年度的美瑛町白金泉源事業特別会計予算につきまして、はじめに議案条文を朗読させていただきます。

（議案の朗読を省略する）

以下、225頁から239頁までの歳入歳出予算などの説明につきましては、省略させていただきます。次に、別冊の各会計予算説明書の32頁をお開きください。朗読をもって説明に代えさせていただきます。白金泉源事業特別会計予算説明。白金泉源事業は、本町観光の大きな一翼を担っている白金エリアの宿泊施設等へ、源泉かけ流し100パーセントの温泉を供給しており、引き続き安定的な温泉供給を図るため、源泉施設の適切な維持管理を行うとともに、設備の更新や浚渫工事に備え、基金の積み立てを行ってまいります。本年度の歳入歳出総額は、前年度比3万6000円、0.2パーセント増の1580万8000円を計上しました。以下、歳入、歳出概要につきましては省略させていただきます。以上で議案第19号の提案理由の説明とさせていただきます。ご審議のほどよろしく願います。

○議長（濱田洋一議員） はい、室長そのまま。

次に、議案第20号について提案理由の説明を求めます。続けてください。

○水道整備室長（長野克哉君） それでは、議案第20号の提案理由をご説明申し上げます。各会計予算書の240頁をお開きください。平成31年度的美瑛町公共下水道事業特別会計予算につきまして、はじめに議案条文を朗読させていただきます。

（議案の朗読を省略する）

以下、243頁を除いて、241頁から262頁までの歳入歳出予算などにつきましての説明は省略させていただきます。次に別冊の各会計予算説明書の33頁をお開きください。朗読をもって説明に代えさせていただきます。公共下水道事業特別会計予算説明。2行目までを省略し、3行目からになります。下水道事業は、長期にわたる多額の建設投資と管理経費が必要であり、使用料収入のみでは運営が厳しく、その経費の一部を一般会計からの繰入金で賄っていることから、今後も経営の効率化に努めてまいります。歳入につきましては、経営の根幹となる使用料を前年度並みとしました。歳出につきましては、美瑛下水処理場のストックマネジメント計画策定を引き続き行い、老朽化が進む設備機器等の改築更新に向けた計画を確立させ、美瑛下水処理場の安定した運転管理に努めます。本年度の歳入歳出総額は、前年度比14

0万6000円、0.5パーセント減の3億42万8000円を計上しました。以下、歳入、歳出の概要につきましては省略をさせていただきます。次に、各会計予算書にお戻りいただきまして、243頁をお開きください。243頁、債務負担行為でございます。朗読をもって説明に代えさせていただきます。第2表債務負担行為、事項、平成31年度水洗便所等改造資金貸付に伴う利子補給。期間、平成32年度から平成35年度。限度額、貸付実績額に対する利子相当額。以上で議案第20号の提案理由の説明とさせていただきます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（濱田洋一議員） はい、室長そのまま。

次に、議案第21号について提案理由の説明を求めます。続けてください。

○水道整備室長（長野克哉君） それでは、議案第21号の提案理由をご説明申し上げます。各会計予算書の263頁をお開き願います。平成31年度的美瑛町水道事業会計予算につきまして、はじめに議案条文を朗読させていただきます。

（議案の朗読を省略する）

以下、266頁から291頁までの水道事業予算実施計画以降につきましてはの説明は省略をさせていただきます。次に別冊の各会計予算説明書の35頁をお開き願います。朗読をもって説明に代えさせていただきます。水道事業会計予算説明。水道事業においては、本町の人口減に伴い給水人口も年々減少しておりますが、安定した給水需要により、経営状況は概ね良好に推移しております。本年度は、今後10年間の経営計画である、美瑛町水道事業会計経営戦略の初年度であり、適正な収入支出と効果を見極めながら、持続可能な水道インフラの実現を目指してまいります。以下の3行は省略をさせていただきます。本年度の予算は、事業運営に必要な骨格予算として計上しました。3条予算では前年並みの給水収益を見込みました。また、水源変更に伴う浄水場の維持管理補償金については、管理状況に配慮した取崩し額の見直しを行いながら維持管理経費に充当してまいります。費用では、施設の維持管理、人件費、減価償却費等を計上しております。4条予算では浄水場のPH計の更新、量水器の取替及び市街地区の消火栓取替工事を実施します。以下、収益的収入及び支出、資本的収入及び支出の概要につきましては、省略をさせていただきます。以上で議案第21号の提案理由の説明とさせていただきます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（濱田洋一議員） 次に、議案第22号について提案理由の説明を求めます。

（「はい」の声）

小杉町立病院事務局長。

（町立病院事務局長 小杉 昌敏君 登壇）

○町立病院事務局長（小杉昌敏君） おはようございます。議案第22号の提案理由につきまして、ご説明を申し上げます。各会計予算書の292頁をお開き願います。はじめに議案条文を

朗読し、その後内容をご説明いたします。

(議案の朗読を省略する)

以下、295頁から324頁までの予算実施計画などの諸表、各明細、注記につきましては説明を省略させていただきますので、後ほどご高覧をお願い申し上げます。次に別冊の各会計予算説明書の38頁をお開き願います。朗読をもって説明とさせていただきます。病院事業会計予算説明。町民の健康な暮らしを支え、住みよいまちづくりを進めるため、町立病院は地域医療の中核として町民の医療を確保し、福祉の増進に資することを目指して運営しておりますが、医療制度改革における医療費抑制政策の影響や、全国的な医師、看護師等の医療スタッフ不足、施設や設備の老朽化に伴う修繕や更新の増加などから厳しい経営環境となっております。こうした中で、旭川医科大学や各医療機関との医療連携の充実・強化により患者サービスの向上に資する医療水準と診療体制の維持に努めてまいりましたが、引き続き、福祉との連携や充実した医療体制と効率的な経営の確立に取り組んでまいります。本年度予算は事業収益及び事業費用は12億4957万4000円、資本的収入は100万円、資本的支出は1億625万2000円とし、資本的収支の不足額1億525万2000円は過年度分損益勘定留保資金で補てんします。以下、収益的収入及び支出、資本的収入及び支出につきましては説明を省略させていただきます。以上で議案第22号の提案理由の説明を終わります。よろしく願い申し上げます。

○議長(濱田洋一議員) これで8案件について、提案理由の説明を終わります。

10時55分まで休憩します。

休憩宣告(午前10時34分)

再開宣告(午前10時55分)

○議長(濱田洋一議員) 休憩前に続いて会議を再開します。

これから質疑を行います。はじめに、8案件に関連する事項についての総括質疑を許します。質疑はありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで8案件に関連する事項の総括質疑を終わります。

次に、議案第15号について総括質疑を許します。

質疑はありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで議案第15号についての総括質疑を終わります。

次に、議案第16号について総括質疑を許します。

質疑はありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで議案第16号についての総括質疑を終わります。

次に、議案第17号についての総括質疑を許します。

質疑はありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで議案第17号についての総括質疑を終わります。

次に、議案第18号について総括質疑を許します。

質疑はありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで、議案第18号についての総括質疑を終わります。

次に、議案第19号について総括質疑を許します。

質疑はありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで議案第19号について総括質疑を終わります。

次に、議案第20号について総括質疑を許します。

質疑はありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで議案第20号についての総括質疑を終わります。

次に、議案第21号について総括質疑を許します。

質疑はありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで議案第21号についての総括質疑を終わります。

次に、議案第22号について総括質疑を許します。

質疑はありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで議案第22号についての総括質疑を終わります。

おはかりします。ただいま一括議題となっております、議案第15号から議案第22号までの8案件の審議については、議長を除く13名の委員で構成をする平成31年度美瑛町議会予算審査特別委員会を設置して、付託審査することとしたいと思います。ご異議はありませんか。

(「なし」の声)

異議なしと認めます。したがって、ただいま一括議題となっております、8議案の審議については議長を除く13名の委員で構成をする平成31年度美瑛町議会予算審査特別委員会を設置し、付託審査をすることに決定をしました。休憩中に予算審査特別委員会を開催し、正副委員長の互選を願います。暫時休憩します。

休憩宣告（午前10時58分）

再開宣告（午前11時14分）

○議長（濱田洋一議員） それでは、休憩前に続いて会議を再開します。休憩中に、平成31年度美瑛町議会予算審査特別委員会の委員長及び副委員長の互選が行われました。その結果を報告します。平成31年度美瑛町議会予算審査特別委員会の委員長に5番佐藤晴観委員、副委員長に6番沢尻健委員。以上のとおりであります。

以上で本日の日程は全部終了しました。

おはかりします。3月2日から3月10日までの9日間は、議事整理等のために本会議を休会をしたいと思います。ご異議はありませんか。

（「なし」の声）

異議なしと認めます。したがって3月2日から3月10日までの9日間は、議事整理等のために本会議を休会することに決定をしました。なお、予算編成方針等に対する質問など、一般質問の通告書の提出期限は本日午後5時までとします。質問者は事務局へ提出をお願いをします。

散会宣告

○議長（濱田洋一議員） 本日はこれにて散会します。

散会挨拶

○議長（濱田洋一議員） ありがとうございます。予算審査委員長も決まりましたので、それぞれ活発な論戦をお願い申し上げ、骨格とは言えども非常に大事な予算であります。慎重審査をお願いを申し上げてご挨拶に代えます。ありがとうございました。

午前11時15分 散会

上記のとおり相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成31年4月22日

美瑛町議会 議長 濱田 洋一

議員 京屋 愛子

議員 佐藤 剛敏